

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者・(児)
事業所名(施設名) ほっとハート親愛

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況=多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>○ご本人またはご家族の意向を尊重した、個別支援計画の作成に当たり、ニーズを大切に考え利用者の持てる力が発揮できる計画が作られていました。</p> <p>○個別支援計画作成に当たり、利用者が他の支援(行動援護支援、グループホーム)等の事業所との連絡を密にし利用者の意思と希望や個性を尊重した支援になるよう取り組まれていました。</p> <p>○月2回行っている会議(ケース会議、スタッフ会議)において、利用者一人ひとりに添った支援が行われているか、本人に理解できる具体的な支援になっているか検討されていました。</p>

	<p>(2) 権利擁護</p>	<p>① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10 ■ 11 ■ 12 ■ 13 	<p>利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p>利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。</p> <p>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p>原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。</p> <p>所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</p> <p>権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p>権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</p>	<p>○法人は権利擁護に関するマニュアルが作成されており、各事業所は当確するケースはないか職員間で検討されていました。当事業所においては当確する案件はありませんでした。</p> <p>○毎月行っている会議では、虐待防止について理解を深め、問題がないか検討されていました</p> <p>○法人にはやむを得ない場合の身体拘束の手続と実施方法が明記され、各事業所の職員に権利擁護徹底が図られていました。</p> <p>○権利擁護、身体拘束については、法人研修や事業所内の学習会が実施され職員の理解、周知に力を入れ、利用者支援が行われていました。</p>
<p>2 生活 支援</p>	<p>(1) 支援の基本</p>	<p>① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 14 ■ 15 ■ 16 ■ 17 ■ 18 	<p>利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</p> <p>利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</p> <p>自律・自立生活のための動機づけを行っている。</p> <p>生活の自己管理ができるように支援している。</p> <p>行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</p>	<p>○利用者自身ができることを生活の中のパターンとして、繰り返し行うことを基本に考える支援を行っていました。</p> <p>○利用者の自立のために本人家族から相談を受けた際には、相談支援等につなげ協力体制をとっていました。</p>

○利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

		<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>○利用者個人の関わりについては、その日の様子に応じ支援方針を毎朝ミーティングで検討されました。</p> <p>○利用者には1日の活動の予定を伝え、心身の状況に応じた参加を本人が決定していました。</p> <p>○コミュニケーションの困難な利用者には視覚支援を行う等自己選択自己決定の関わりが持たれていました。事業所内には自己決定ができる工夫がされていました。</p> <p>○音楽療法に取り組み、言葉の少ない人や車いす利用者の支援をおこなっていました。</p>
		<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>○利用者の意思決定のために職員はどう関わるか、活動ごとに振り返り、分析を行い、人権を守り、本人の意思決定を尊重した支援になっているのか、折に触れ職員会で議題にされていました</p> <p>○本人の希望されている活動が支援計画に基づき行われているかサービス管理者等と検討され共有をはかっていました。</p> <p>○書初めで「お汁粉」と書き、自分の意思を示され、その後みんなでお汁粉を作り楽しんでいました。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 29 ■ 30 ■ 31 ■ 32 ■ 33 ■ 34 	<p>個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</p> <p>利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</p> <p>利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</p> <p>文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</p> <p>地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</p> <p>個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○個々の個別支援計画に基づき、工作、音楽、運動、季節の行事、図書館利用、紙すきはがき制作が提供されていました。</p> <p>○プログラムの工夫は、役割分担の工夫により、利用者同士の関りが円滑に行われるよう、他者の推薦、譲り合い、模倣により個々の挑戦する力を引き出せる様支援が行われていました。</p> <p>○個別支援計画は6か月に1度作成され、日々のミーティングやケース会議を通して、支援の検討、見直しを行っていました。</p> <p>○午前の活動は希望の多いスポーツ、調理活動等をみんなで行うが午後は個々の希望の活動を行っていました。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 35 ■ 36 ■ 37 ■ 38 ■ 39 	<p>職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>利用者の不適応行動などの行動障がいに個別かつ適切な対応を行っている。</p> <p>行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>○職員はケース会議や各研修会に参加しより知識を深めていました。</p> <p>○職員が日々接している利用者の課題と障がいの特性を結び付けられるような学習会を事業所で随時行っていました。</p> <p>○学習会などは、一般論の学習でなく、個々の利用者にあった現場で生かせ、理解できるように努めていました。</p> <p>○利用者の障がい特性を理解する勉強会が企画され、利用者同士のトラブルに対しても丁寧に対応していました。</p>

<p>(2) 日常的な生活支援</p>	<p>① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</p> <p>41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</p> <p>42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</p> <p>43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</p> <p>44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</p>	<p>○食事献立は栄養士が作成し利用者にあった刻み食などが対応されていました。行事食など楽しみな食事も提供されていました。利用者が楽しみとなる工夫がされ、ご飯や食事の香りが感じられる工夫をされていました。</p> <p>○入浴支援は毎日5人～8人程が利用されています。入浴支援には看護師も入り身体状況の確認ができていました。体重や表情の変化にも気を配られていました。既存の建物ですが使い勝手に工夫がみられました。</p>
<p>(3) 生活環境</p>	<p>① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</p> <p>46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</p> <p>□ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。</p> <p>■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</p> <p>■ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</p>	<p>○既存の建物を活用されているため狭い空間もありますが、日常的にリハビリが行えたり利用者が混乱しないような工夫がみられています。</p> <p>○活動場所には一時的に他者との関りを断つ空間や横になって休める場所が用意されていました。活動場所は皆で作り上げた壁面工作や個々の活動の予定がわかる日課表、視覚支援がされており利用者のために何が理解され適切なのか把握し取り組まれていました。</p> <p>○施設が狭く個室がないために静かに過ごせない時がありました。</p>

<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</p> <p>51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</p> <p>52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</p>	<p>○活動や日常生活に、スポーツ、調理、係分担を担うことで毎日楽しみながら練習し、それらが生活力の向上につながるよう取り組みをされていました。</p> <p>○工夫することでできることが多くなる、自身の力を発揮する取り組みが多々見られました。それぞれにあった機能訓練や生活訓練ができ「やればできる、やろうよ」が感じられました。</p> <p>○大きな貼り絵を作成する為に体を動かして感じる、絵にかかわる歌を歌い声を出す等工夫されていました。</p>
<p>(5) 健康管理・医療的な支援</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</p> <p>56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</p> <p>57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</p> <p>58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</p> <p>59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	<p>○入浴支援や排泄時、看護師や支援員など複数の目で健康状態の把握を行っていました。</p> <p>○日々のミーティングで看護師からの報告や月1回の会議で看護情報について課題の共有をする機会が設けられていました。</p> <p>○利用者に向けては看護師による、歯磨き指導、感染症予防の手洗いなどの学習会を定期的に行われていました。</p> <p>○健康管理のため散歩や毎日の体操を楽しみながらできる時間を作っていました。</p>

	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</p> <p>61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。</p> <p>62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</p> <p>63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</p> <p>64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</p> <p>65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	<p>○医療的支援は、看護師を中心に行われていました。服薬管理、けがや体重の変化に注意を払っていました。体重管理は毎月行われ、車いすでも測定できる体重計が用意されていました。</p> <p>○現在は医療的ケアの必要者はいませんが、てんかん発作についての勉強会を始め、歯磨き指導や感染症の手洗い消毒について、利用者へどう伝えるかが工夫されていました。</p> <p>○健康管理は法人全体で取り組み定期健診も行われていました。</p> <p>○近年のコロナ禍で法人全体で取り組み管理職の他事業所協力も行っていました。</p>
<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</p> <p>67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</p> <p>68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</p> <p>69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</p>	<p>○積極的な地域の関わりを行い、定期的な図書館利用や公共交通機関等社会的資源の活用を行いました。</p> <p>○活動で制作している紙すきはがきの販売や、貼り絵作品の展示を行う等社会活動を積極的に行っていました。</p>

<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。</p> <p>71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。</p> <p>72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。</p> <p>73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。</p> <p>74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。</p>	<p>○利用者には在宅生活、施設入所、グループホーム利用等に必要地域生活上の社会的支援の活用が行われています。それぞれの環境と適応力に応じた関わりがされていました。</p>
<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>a)</p>	<p>■</p>	<p>75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</p> <p>76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</p> <p>77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</p> <p>78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</p> <p>79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</p> <p>80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</p>	<p>○日々の連絡ノート、月1回発行の機関紙、担当者会議、年1回の報告会を開催し家族との連携を図り意見交換が行われていました。</p> <p>○支援会議(担当者会議)などで定期的に話し合いをされていました。</p> <p>○家族の協力と支援によって利用者の生活向上につながる様連携が図られていました。</p>

3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a) b) c)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。</p> <p>82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。</p> <p>83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p> <p>84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	対象外
4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a) b) c)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<p>85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p> <p>86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p> <p>87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p> <p>88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p> <p>89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p> <p>90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	対象外

<p>② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。</p>	<p>a)</p> <p>b)</p> <p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p>92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p>93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</p> <p>94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p>95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p>96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	<p>対象外</p>
	<p>③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p> <p>a)</p> <p>b)</p> <p>c)</p>	<p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/></p>	<p>97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。</p> <p>98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>100 就労後の利用者や職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	<p>対象外</p>